

—より強く、よりしなやかに—
ファイン・ヒート・テクノロジー

 **ネツレン**
NETUREN 高周波熱錬株式会社

NETUREN REPORT

第106期 中間ネツレンレポート

2016年4月1日から2016年9月30日まで

証券コード 5976



株主の皆様へ

MESSAGE FROM THE MANAGEMENT

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第106期中間ネツレンレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

溝口 茂

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行などが企業業績や個人消費にも影響を及ぼし、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、世界経済においては、中国をはじめとする新興国経済の減速など景気の下振れリスクが懸念される状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」に掲げた成長戦略である積極的な海外事業展開と、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」における革新に取り組むことにより、経営体質の強化、企業価値のさらなる向上を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、20,194百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は、1,010百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は、1,148百万円（前年同期比16.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、837百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における中間配当につきましては、配当政策に基づき、1株につき金7円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、予断を許さない状況であり、かつ、当社グループの事業においては、建設機械業界や土木、建築業界からの受注が本格的な回復に至るまでには、なお時間を要すると想定しております。

このような状況の中、第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」に基づき、引き続き海外事業を含む慎重かつ積極的な事業展開を実施するとともに、原価低減に努め、収益力の向上を図ることにより、事業基盤の強化・企業価値の向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月

第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」の見直し

当社は、2016年11月7日開催の取締役会において、ネットレングループ第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」（2015年5月11日公表）を以下のとおり見直しました。

1. 連結経営目標

| | 2018年3月期 今回見直し計画 | 2018年3月期 当初計画 |
|-----------------|---------------------|------------------|
| 売上高 | 460億円 | 600億円 |
| 営業利益 | 34億円 | 52億円 |
| 営業利益率 | 7.4% | 8.8% |
| ROA（総資産経常利益率） | 5.1% | 6.7% |
| ROE（自己資本当期純利益率） | 5.6% | 5.3% |

2. 見直しの理由

当社グループを取り巻く事業環境が当初計画立案時から大幅に変化していること、また、高強度鋼材製品の承認手続きの厳格化も含めた新商品の市場投入の遅延を踏まえ、このたび計画の見直しを行いました。

事業環境の変化とは、建設機械業界からの受注が想定以上に落ち込んだこと、為替相場の円高基調への転換、中国景気停滞の長期化などであり、この傾向は今後もしばらく継続するとみられます。

「ネットレンCSRレポート2016」の発行

2016年10月、当社は、持続可能な社会の実現に向けたCSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の取り組みについて、すべてのステークホルダーの皆様にお伝えするとともに、活動のさらなる向上を目的に「ネットレンCSRレポート2016」を発行いたしました。

今回のレポートでは、当社が設立70周年の節目を迎えたことを踏まえ、これまでの軌跡を振り返るとともに、100年企業に向けた当社のあるべき姿に焦点を当てて報告しています。



「ネットレンCSRレポート2016」

※「ネットレンCSRレポート2016」は当社ホームページに掲載しています。
<http://www.k-neturen.co.jp>

「Spring World 2016」への出展

2016年10月、当社は、Donald E.Stephens Convention Center（アメリカ合衆国イリノイ州）において開催された展示会「Spring World 2016」に出展しました。

展示会では、当社の基幹技術であるIH（誘導加熱）を応用した製品であるITW®の優位性について、パネルや製品見本の展示、プレゼンテーションを通じPRしました。

当日は、多数の方が来場され、当社の商品や技術について活発な質疑応答が行われました。



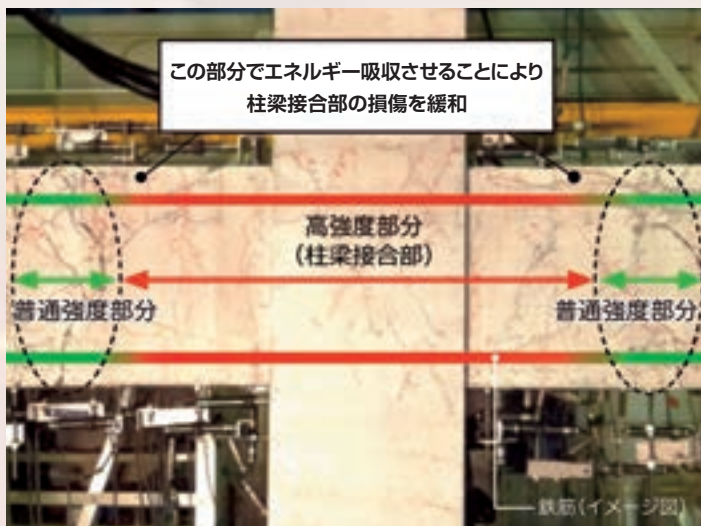
プレゼンテーション風景

部分高強度鉄筋の開発

当社では、高周波誘導加熱が得意とする部分加熱の技術を活かし、鉄筋を部分的に焼入れして1本に二つの強度を混在させた世界初の『部分高強度鉄筋』を開発しました。

部分高強度鉄筋を用いた工法は、建物に地震が作用した時に最も損傷が起こりやすい柱と梁の接合部近傍の鉄筋を高強度部とし、その他の部分を通常の鉄筋強度とすることを特徴としています。それにより巨大地震発生時にも、大きな力が作用する部分では十分な強度を確保する一方で、通常の鉄筋強度の部分でエネルギー吸収させることにより、耐震性能を確保するという全く新しい発想のもと、従来の鉄筋量に比べ30～40%の削減が可能となります。

また、部分高強度鉄筋の開発は、建物の機能向上に加え、鉄筋量の削減を通じ、施工時の作業性向上や工期短縮につながります。併せて、省資源化や生産過程において発生する二酸化炭素の排出量軽減により、環境にも配慮した新たな技術であることから、今後の展開を期待しております。



巨大地震を模擬した柱梁接合部の構造実験の状況

NETUREN NETWORK

ビジネスフィールドを創造し、さらなる飛躍を目指します。

ネットレン国内事業所一覧

- ① いわき工場
- ② 茨城工場
- ③ 本社
- ④ 寒川工場
- ⑤ 湘南事業所・平塚工場
- ⑥ 可児工場
- ⑦ 刈谷工場
- ⑧ 尼崎工場
- ⑨ 神戸工場
- ⑩ 赤穂工場
- ⑪ 岡山工場



Group Information

高周波熱錬（中国）軸承有限公司

会社概要

- ①所在地 中華人民共和国山東省
- ②事業内容 建設機械部品等の製造・販売
- ③資本金 195百万元
- ④代表者 元木 信二郎

高周波熱錬（中国）軸承有限公司は、建設機械業界のグローバル化に対応するとともに、中国における建設機械部品等の需要を的確にとらえていくことを目的に、2011年2月に設立いたしました。

同社は、建設機械部品等の製造・販売を事業としており、当社グループにおける中国での事業戦略の重要な拠点として、さらなる発展を期待しております。

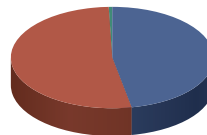


同社 外観

セグメント別営業の概況

セグメント別売上高構成比

| | | |
|-------------|-------|-----------|
| ■ 製品事業部関連事業 | 47.2% | 9,528百万円 |
| ■ IH事業部関連事業 | 52.5% | 10,603百万円 |
| ■ その他 | 0.3% | 61百万円 |



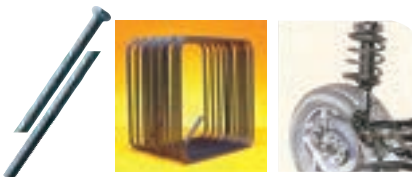
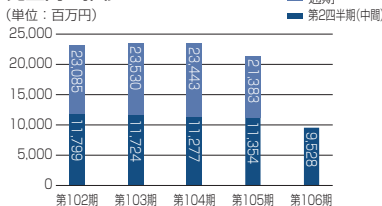
製品事業部関連事業

当社主力製品である土木・建築関連製品の販売量は、主として土木関係工事が低調に推移したことにより減少いたしました。また、高強度ばね鋼線 (ITW®) の販売量は、国内および欧州で堅調に推移したものの、中国および米国で減少したため、前年同期と比較し若干減少いたしました。

なお、競合他社との競争が激しさを増す中、政策的な値下げを行ったため、当該セグメントの売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は、9,528百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益は、649百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

売上高の推移



PC鋼棒 高強度せん断補強筋 サスペンション用ばねの使用例

PC鋼棒関連製品

高周波熱処理を応用したプレストレストコンクリート用部材である高強度、高品質のPC鋼棒および関連製品の製造・販売を行っております。

ばね鋼線関連製品

高周波熱処理された冷間成形用の高強度ばね鋼線 (ITW®) の製造・販売を行っております。

IH事業部関連事業

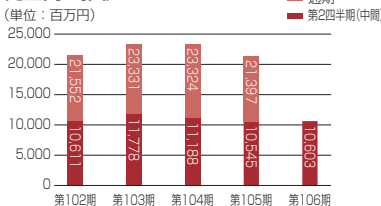
熱処理受託加工関連の売上高は、自動車向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、建設機械部品関連の売上高は、厳しい受注状況が継続しているものの、国内および中国で販売が伸びたことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

自動車部品関連の売上高は、国内での販売が減少したものの、海外での販売が比較的堅調に推移したため、前年同期と比較し若干の増加となりました。

一方、誘導加熱装置関連の売上高は、国内および中国での販売が低調であったことにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は、10,603百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は、331百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

売上高の推移



旋回輪の高周波焼入れ コンパクトCVJ焼入れ機

熱処理受託加工関連

高周波熱処理を中心にあらゆる機械部品の熱処理受託加工を行っております。

自動車部品関連 / 建設機械部品関連

中空ラックバー、EPS用ウォームホイール等の自動車部品および建設機械用旋回輪の製造・販売を行っております。

誘導加熱装置関連

誘導加熱・熱処理装置、周波数変換装置等の設計・製作・販売・エンジニアリングを行っております。

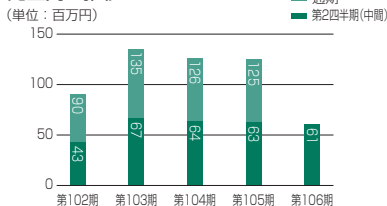
その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等でありです。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は、61百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は、28百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

売上高の推移



オーバルコート大崎マークウエスト

賃貸事業

「オーバルコート大崎マークウエスト」に当社が所有するフロアおよび当社が行う事業に関連する設備等の賃貸事業であります。

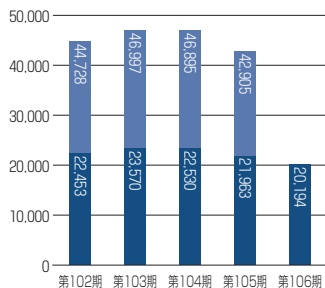
その他

上記以外の事業であります。

連結財務ハイライト

売上高

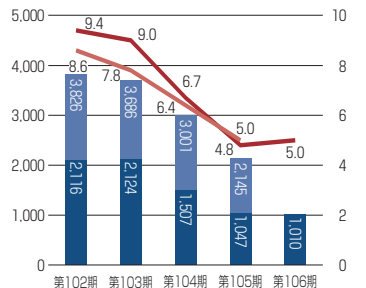
(単位：百万円)



通 期
第2四半期(中間)

営業利益／営業利益率

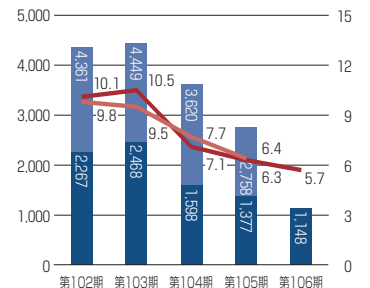
(単位：百万円)



通 期
第2四半期(中間)

経常利益／経常利益率

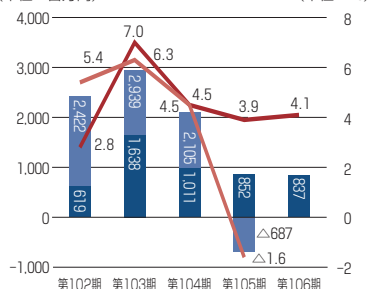
(単位：百万円)



通 期
第2四半期(中間)

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率

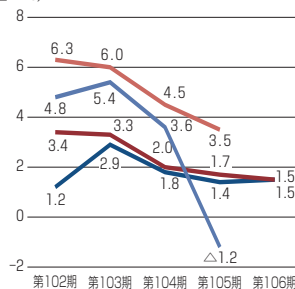
(単位：百万円)



通 期
第2四半期(中間)

ROE／ROA

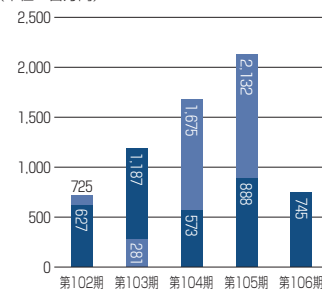
(単位：%)



通 期
第2四半期(中間)

フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



通 期
第2四半期(中間)

●財務の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、71,644百万円（前連結会計年度末比6.5%減）となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、11,749百万円（前連結会計年度末比18.5%減）となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、短期借入金や長期借入金が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、59,895百万円（前連結会計年度末比3.7%減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定や非支配株主持分が減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、76.2%となりました。

財務諸表の概況（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 科 目 | 前連結会計年度 2016年3月31日現在 | 当第2四半期連結会計期間 2016年9月30日現在 | 科 目 | 前連結会計年度 2016年3月31日現在 | 当第2四半期連結会計期間 2016年9月30日現在 |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 35,452 | 32,579 | 流動負債 | 11,952 | 9,434 |
| 現金及び預金 | 14,674 | 14,410 | 支払手形及び買掛金 | 5,248 | 2,220 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,905 | 10,216 | 電子記録債務 | 730 | 3,184 |
| 電子記録債権 | 2,763 | 2,876 | 短期借入金 | 1,887 | 1,664 |
| 有価証券 | — | 9 | 未払法人税等 | 464 | 252 |
| 商品及び製品 | 990 | 830 | 賞与引当金 | 517 | 548 |
| 仕掛品 | 1,238 | 1,070 | その他 | 3,103 | 1,564 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,950 | 1,789 | 固定負債 | 2,455 | 2,315 |
| その他 | 1,934 | 1,380 | 長期借入金 | 621 | 414 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 | 退職給付に係る負債 | 977 | 1,058 |
| 固定資産 | 41,158 | 39,065 | その他 | 856 | 842 |
| 有形固定資産 | 28,456 | 27,875 | 負債合計 | 14,408 | 11,749 |
| 建物及び構築物 | 8,343 | 8,355 | 純資産の部 | | |
| 機械装置及び運搬具 | 8,012 | 8,664 | 株主資本 | 54,761 | 55,296 |
| 土地 | 9,602 | 9,794 | 資本金 | 6,418 | 6,418 |
| 建設仮勘定 | 2,214 | 792 | 資本剰余金 | 5,528 | 5,528 |
| その他 | 283 | 267 | 利益剰余金 | 44,485 | 45,019 |
| 無形固定資産 | 922 | 780 | 自己株式 | △1,670 | △1,670 |
| 借地権 | 911 | 771 | その他の包括利益累計額 | 1,591 | △701 |
| その他 | 11 | 8 | その他有価証券評価差額金 | 335 | 321 |
| 投資その他の資産 | 11,779 | 10,409 | 為替換算調整勘定 | 1,479 | △767 |
| 投資有価証券 | 11,470 | 10,063 | 退職給付に係る調整累計額 | △224 | △255 |
| 長期貸付金 | 44 | 46 | 非支配株主持分 | 5,849 | 5,301 |
| その他 | 349 | 384 | 純資産合計 | 62,202 | 59,895 |
| 貸倒引当金 | △84 | △84 | 負債純資産合計 | 76,610 | 71,644 |
| 資産合計 | 76,610 | 71,644 | | | |

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から2015年9月30日まで | 当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から2016年9月30日まで |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 21,963 | 20,194 |
| 売上原価 | 17,586 | 15,610 |
| 売上総利益 | 4,377 | 4,583 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,329 | 3,573 |
| 営業利益 | 1,047 | 1,010 |
| 営業外収益 | 383 | 290 |
| 営業外費用 | 53 | 151 |
| 経常利益 | 1,377 | 1,148 |
| 特別利益 | 128 | 4 |
| 特別損失 | 40 | 29 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,465 | 1,123 |
| 法人税等 | 461 | 239 |
| 四半期純利益 | 1,003 | 883 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 852 | 837 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 151 | 45 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から2015年9月30日まで | 当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から2016年9月30日まで |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,210 | 2,108 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,322 | △1,363 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △406 | △783 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 20 | △335 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 502 | △372 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,422 | 14,054 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 70 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,925 | 13,752 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

(2016年9月30日現在)

株式の状況

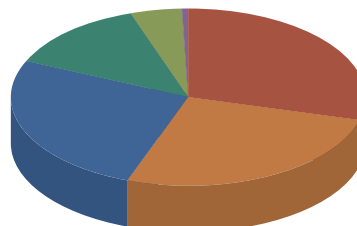
発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 44,713,930株 (自己株式2,092,657株を含む)
 株主数 3,365名

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------------------|---------|---------|
| 新日鐵住金株式会社 | 3,101 | 7.3 |
| 株式会社メタルワン | 1,953 | 4.6 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO1 | 1,772 | 4.2 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 1,469 | 3.4 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,432 | 3.4 |
| JFEスチール株式会社 | 1,171 | 2.7 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 943 | 2.2 |
| 株式会社三井住友銀行 | 907 | 2.1 |
| NTN株式会社 | 836 | 2.0 |
| 第一生命保険株式会社 | 826 | 1.9 |

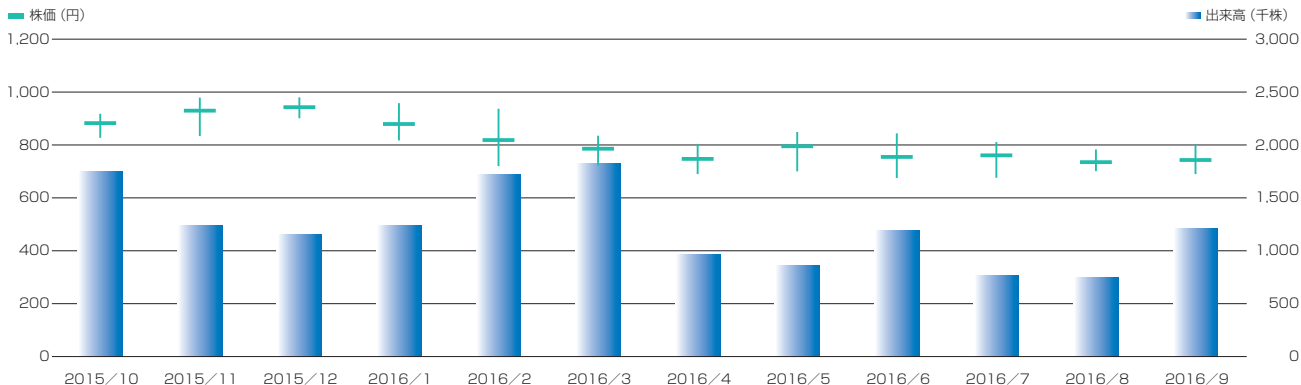
- (注) 1. 当社は、自己株式2,092千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率については、自己株式2,092千株を除いて算出してあります。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) の持株数は、信託業務に係るものであります。

所有者別株式分布状況



| | | |
|----------|----------|--------|
| ■ その他法人 | 13,157千株 | 29.4% |
| ■ 外国法人等 | 11,762千株 | 26.3% |
| ■ 金融機関 | 11,588千株 | 26.0% |
| ■ 個人・その他 | 5,917千株 | 13.2% |
| ■ 自己名義株式 | 2,092千株 | 4.7% |
| ■ 証券会社 | 195千株 | 0.4% |
| | 44,713千株 | 100.0% |

株価および出来高の推移



会社概要

(2016年9月30日現在)

商号 高周波熱錬株式会社 Neturen Co.,Ltd.

所在地 〒141-8639
東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーバルコート大崎マークウエスト

TEL 03-3443-5441 (代表)

FAX 03-3449-3969

設立 昭和21年(1946年)5月15日(現社名)

資本金 6,418,359,752円

従業員数 連結 1,401名 単独 807名

| | | |
|----|--------------|--------|
| 役員 | (代表取締役)取締役社長 | 溝口 茂 |
| | 常務取締役 | 元木 信二郎 |
| | 常務取締役 | 大宮 克己 |
| | 取締役 | 合屋 純一 |
| | 取締役 | 安川 知克 |
| | 取締役 | 村田 哲之 |
| | 取締役 | 鈴木 孝博 |
| | 取締役 | 川崎 一博 |
| | 取締役(社外取締役) | 寺浦 康子 |
| | 監査役(常勤) | 稲垣 均寛 |
| | 監査役(社外監査役) | 吉峯 寛 |
| | 監査役(社外監査役) | 中野 竹司 |

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

| | | |
|-----|--------|---------|
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当 | 毎年9月30日 |

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネット <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

ホームページURL

公告の方法 当社ホームページに掲載する。

<<http://www.k-neturen.co.jp/ir/kohkoku/kohkoku.html>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所 (市場第1部)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

－ 1 単元 (100株) 未満の株式をお持ちの株主様へ－

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式と併せて単元株式数(100株)となる数の株式について、当社に買増請求することができます。また、簡単なお手続きにより、ご所有の単元未満株式を買取請求することもできます。

なお、当社では、当社単元未満株式の買増・買取に関する手数料を無料としておりますので、ご案内申し上げます。

また、いずれのお手続きも、詳細につきましては、証券会社にて口座を開設している株主様につきましてはお取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては当社特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までお問い合わせください。

ホームページもご覧ください。

<http://www.k-neturen.co.jp>



NETUREN

本レポートに関するお問い合わせ先

高周波熱錬株式会社 管理本部企画管理部
〒141-8639 東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーバルコート大崎マークウエスト
TEL 03-3443-5441(代表) / FAX 03-3449-3969



このレポートは、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています